



発行：大野北地区社会福祉協議会
〒252-0233 相模原市中央区
鹿沼台 1-10-20
(大野北まちづくりセンター内)
電話：042-861-4512

中学生ボランティアスクール

中学生ボランティアスクールは、夏休みを利用し、普段経験しないようなことを体験して何かを感じてもらう機会を提供するイベントです。

今回の参加者は、近隣の中学校に参加者を募ってもらった結果、大野北中学校から7名、共和中学校から6名の応募があり、3年生が10名、2年生が3名、女子が10名、男子は3名という参加者構成になりました。

内容は、①午前に保育園ボランティア体験 ②午後は車イス体験、これらの二つをメインに、昼食後は擬似スイカ割りのレクリエーションを行いました。



保育園ボランティア体験は、保育園の幼児と一緒に2時間余りを過ごす体験です。「認定こども園ひかりキッズ」「YMCA オペリン保育園」「ふちのべ美邦こども園」の三つの保育園の協力を得て引率者と共に訪問し、交流する時間を過ごしました。

具体的には、砂場での遊び、室内での運動ゲームやレゴなどのつみき遊び、またプール遊び等々を行いました。

始めはちょっと離れて見ていた中学生もいつの間にか引き込まれて一緒に遊んでいました。先生からは高校生になったらいつでもボランティアとして、来てくださいと声をかけていただきました。



昼食後スイカボールを使ってのスイカ割り対抗戦が行われ、講習中には見せないリラックスしたフレンドリーな様子でした。

午後からはボランティアおおのきたの皆さんが講師となり、車いすの体験をしました。狭い台や、坂道、ガタガタ道を交えたコースで、始めよろよろでしたが、終わりの方では、次々と自主的に挑んでいきました。慣れてきたところで、公民館内や敷地内の外でも練習していました。



途中から共和中学校の小林知昭校長先生がこられ、見学かたがた生徒への声かけを行っていました。

終わった後のアンケートには、
○子どもたちからたくさん話しかけられたり、一緒に遊んでとても楽しかった。
○困っている友達がいたら助けてあげたいと思った。
○車いすはこんなにもたいへんと感じた。
○初めてのことがたくさん体験できてすごく楽しかった。
などの感想がよせられました。



開催日：8月1日 主催：大野北地区社協ボランティア部会
協力：大野北地区民児協、ボランティアおおのきた、福祉グループ「輪」

大野北ふるさとまつり

8月6日(日)第35回大野北銀河まつりと同時開催で、大野北ふるさとまつりが鹿沼公園で行われました。

大野北地区社会福祉協議会(地区社協)では、くじ引きのブースを出店し、たくさんの子どもの歓声に包まれました。

大粒の雨が降ったりやんだりと変わりやすい猛暑の天気にもかかわらず、コロナ5類になったこともあり、この日を楽しみに、多くの方々に賑わいました。

「ネットで調べて、大和市から来ました!!」という家族もいて、地域だけでなく県北のまつりになっている事を感じました。



大野北地区防災訓練体験

今年度の訓練は参加人数の限定を若干緩和して11月11日(土)に開催されました。

訓練では、8種類の訓練や体験が設定され、①災害時要援護者支援②備蓄倉庫確認③発電機操作確認④応急救護⑤消火器取り扱い⑥AED操作⑦簡易トイレ組立訓練⑧起震車・煙体験があり、参加者は4項目程度を選択して訓練を受けました。

自治会単位でそれぞれの体験希望場所に参加しました。その中で簡易トイレの組立訓練で、トイレテントの形が変わり広さを感じました。非常食としての従来の乾パンビスケットに加え保存食の配付も行われました。



車いすの貸出【費用は無料】
貸出期間：約1週間
※事前予約は下記まで
問い合わせ下さい。



赤い羽根街頭募金の呼びかけ

10月1日(日)は、ボーイスカウト相模原第8団の子供たちが、翌日は大野北地区民生委員児童委員の皆さんが、淵野辺駅改札口及びエスカレーター付近で募金活動を行いました。

ボーイスカウトの皆さんは本当に大勢で参加してくれて、半数は募金活動、残りの半数は駅周辺の清掃を行うなど、途中交代しながらの活動でした。よくとおる子供の声につられるように募金に参加し、何人からも同時に赤い羽根を差し出され、和やかな時が過ぎていました。

二日目は、大野北地区の民生委員が時間交代をしながら、駅の乗り降りのお客さんやバス停付近の通行の人たちに声かけを行いました。

その結果昨年より多くの募金協力をいただきました。ありがとうございました。

